

担い手通信 <第三号>



令和元年度
第13期
担い手育成推進
委員会
事務局 発行



「地域福祉の担い手育成推進委員会」では、第1回の委員会でも委員の皆さんに「宿題”をお願いし、地域アセスメントシート「探検！ 私たちのまち！」を使って、地区の活動や状況を確認してまとめていただきました。

第3回の委員会では、そのシートを使って、それぞれの地域財産をどう活かすかを考えるワークをしました。

地域アセスメントシートを使って考えよう 地域財産を活かした活動

① 地域財産”…
どんなのがあったかな？



最初に、同じ地区の委員とのペアワークで、宿題から地域財産を「人・文化・施設・特色」別に洗い出しました。

そのあと、グループの他の地区の委員とそれぞれの地区の状況を共有しました。

② 地域財産…
どうやって活動に活かしてるの？

自分たちの地区の地域財産を確認した後は、湘北地区の『みんなの居場所』の活動事例を市社協職員によるロールプレイでひも解いていきながら、地域財産を活かしてどのような活動が始まり、今はどのような活動に発展しているのか、地域財産を活かすヒントを探りました。



③こんな活動があったら…
実現に向けて考えてみよう！

湘北地区の事例からヒントをもらったあとは、「地区にこんな活動があったらいいな…」「こんなことがやりたいな…」ということをグループで出し合いました。



一つを選び、実現に向けて先上げた地域財産をどのように活用できるか意見を出し合いました。

様々なアイデアが出されて、ディスプレイはどのグループも盛り上がり上がっていました。

最後はグループ発表！
各グループのアイデアはこちら！

○グループ1
「タ富士を見る会」

各自自治会ごとのサロンはあるが、自治会で分断しないいろいろな人が一緒に集えるサロンのイメージ。浜見平にあるハマミリーナ2階からきれいなタ富士が見えるしカフェもあるから、タ富士を見ながらコーヒーを飲んで交流できれば。

○グループ2

「地域のつながりがもてるサロン」
今までサロンに参加できなかった人たちを集めて、何をやっていくかを自分たちで考える会。参加者の自主性を大事にする。市の空き家マッチング制度を利用して場所を探してはどうか。

○グループ3

「市民の森（小出）の活用」
市が管理する「市民の森」をもっと交流の場として活用したい。駐車場は無料で桜も自然もきれい。施設の草木の整備は市に頼むほか、自治会、近隣農家などに頼んでもいいのでは。フリーマーケットなどを開催して盛り上げて、近隣企業に出店協力してもらう。小出の予約型乗り合いバスが市民の森までの「あし」として活用できる。

○グループ4

「ジャムづくりの世代間交流」
庭に柑橘系の植物を植えているお宅が多いから、実を持ち寄ってみんなでジャムづくりやピールづくりを楽しむ。得意な人に協力者を依頼。コミュニティセンターなど公施設の調理室を利用。作ったものを地区内の福祉施設などに寄附したらつながりも広がる。



△おわりに…▽
グループワークでは、話を共有してアイデアを出し合う過程を、楽しいと感じた方が多かったようです。

それぞれの地区でも、お仲間と今回同様に一緒に「楽しく」アイデア出しができるようにしたいですね。

第四回委員会は12月16日(月)10:00～12:00
さがみ農協ビル2階 B会議室で開催します。
皆さま、また次回よろしくお願いいたします！

